

研究課題名	神経筋疾患患者における体組成分析と一般臨床検査の相関に関する調査
本研究の目的	後方視的に体組成分析(InBody M10、DSM-BIA 法)を用いた、体脂肪量、骨格筋量等の測定結果を年齢推移や一般臨床検査結果との関係について検討する。
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2026年3月末日
調査データ該当期間	2014年04月01日 ~ 研究機関の長の許可日
研究の方法	<p>●対象 上記該当期間中に当院に通院/入院中の神経筋疾患患者において、InBodyS10を用いて体組成分析測定を行った方。</p> <p>●用いる試料・情報 診療録より下記を用いる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ InBodyS10を用いた体組成分析結果</li><li>・ CK や栄養に関連する Alb、コレステロールを含めた血液検査結果</li><li>・ 胸部レントゲン、心電図、Holter 心電図等</li></ul>
お問い合わせ先	電 話:0944-58-1122(代表) 研究責任者:荒畑 創 (脳神経内科)